



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 クリエイトメディック株式会社 上場取引所 東
コード番号 5187 URL <https://www.createmedic.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役 社長 （氏名）今澤 修
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経理部長 （氏名）上野 晃也 TEL 045-777-0111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	10,054	5.7	913	75.3	871	59.9	666	△10.5
2024年12月期第3四半期	9,512	3.8	521	△14.9	545	△16.4	744	—

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 382百万円（△57.0％） 2024年12月期第3四半期 891百万円（48.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	78.45	76.57
2024年12月期第3四半期	83.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期第3四半期	19,151	15,623	81.6	1,863.14
2024年12月期	20,047	15,750	78.6	1,833.67

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 15,622百万円 2024年12月期 15,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2025年12月期	—	17.00	—		
2025年12月期（予想）				20.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	13,583	4.2	1,002	44.7	1,043	39.0	796	△5.3	92.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	9,664,327株	2024年12月期	9,664,327株
2025年12月期3Q	1,279,148株	2024年12月期	1,074,624株
2025年12月期3Q	8,497,339株	2024年12月期3Q	8,880,747株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(会計方針の変更に関する注記)	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、経営理念として「からだにやさしい未来の医療を築く ～私たちは「かけがえのない生命を守る」製品の開発・製造・販売に情熱を燃やし、人々の健康で豊かな生活に貢献します～」と定め、次の事項を経営の基本方針に掲げております。

- ① 医療に携わる企業として、社会に貢献することを第一義とし、人々の役に立ち喜ばれる製品を提供する。
- ② 創造性・意外性・感動性ある企業として発展するために、総力を結集する。
- ③ 従業員の生活を豊かにし、秩序ある明るい職場環境をつくる。
- ④ 企業の成長に不可欠な人材の発掘・登用、教育・育成に努める。
- ⑤ 事業活動で得た成果・利益は、持続的な企業価値の向上に向け、適切に配分する。

当社グループは昨年8月に設立50周年を迎え、当社10年後のありたい姿ならびに今後の事業発展を目指して将来構想を策定し、このフェーズ1として新たに中期経営計画2027を公表いたしました。本計画では、連結グループ増益確保など既存事業の利益率の改善等に取り組み、最終年度である2027年の業績は、売上高16,000百万円、営業利益1,300百万円、ROE 7%と設定し、経営目標の達成を目指してまいります。

このような中期経営計画を実現するために、2025年7月には横浜キャピタル株式会社と事業提携契約を締結し、同社より資金提供を受けるほか、収益性の改善に関する施策、海外事業の強化、基盤事業またはヘルスケア領域における新規事業のM&Aなど、経営基盤強化の経営支援を受けております。今後も当社グループは、経営理念の実現と医療現場への貢献に資する事業活動を行うとともに、経営目標の達成のためにスピード感をもって改革と実行を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の堅調な推移や、企業によるデジタル化・脱炭素に向けた設備投資の継続により経済は回復基調にあります。一方で、物価高騰の影響による個人消費の落ち込みが見られ、依然として不確実性の高い状況が続いております。海外においては、米国の関税政策や不安定なサプライチェーンに加え、中国の不動産市場の停滞による経済成長の鈍化も続いており、先行き不透明感が残る状況となっています。

このような状況の下、当社グループは新たな中期経営計画の達成に向け、国内では新製品の上市をはじめとする営業活動の強化と販売価格の改定により収益性向上を図り、併せて仕入先の変更による原価低減にも努めてまいりました。海外販売においては、インド及び東南アジア地域への販路拡大を積極的に進めており、将来的な事業の柱となる海外販売事業の基盤構築に向けて取り組みを強化しております。

以上により、売上高につきましては、自社販売、OEM販売が増加し、特に自社販売は新発売の泌尿器系製品の好調もあり売上増加となりました。海外販売は、特に欧州向け輸出品がMDR（欧州医療機器規則）移行切替前の前倒し受注や競合他社の製品自主回収による売上増加があったものの、中国で普及する集中購買制度の影響で販売が減少したため、全体として横ばいとなりました。

利益面では本年4月の自社販売における価格改定が市場に受け入れられたことと、生産のコストダウンや生産拠点の最適化により売上原価率が低下し、さらに販売費及び一般管理費は前年同期における費用負担が解消されたことで、営業利益、経常利益が大幅な増加となりました。一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に本社売却による特別利益を計上したため当第3四半期連結累計期間は減少しておりますが、当初見込みを大幅に上回る水準となっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,054百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益913百万円（前年同期比75.3%増）、経常利益871百万円（前年同期比59.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益666百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	前年同期比	
			金額	増減率
自社販売	5,078	5,516	438	8.6%
海外販売	3,564	3,593	28	0.8%
OEM販売	869	944	75	8.6%
合 計	9,512	10,054	542	5.7%

< 自社販売 >

自社販売は、泌尿器・消化器の新製品の好調と販売価格の改定により売上が増加し、売上高5,516百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

< 海外販売 >

海外販売のうち、輸出販売は欧州向けの泌尿器系製品が競合他社の自主回収により大幅に受注が増加しました。一方、中国販売は、消化器系製品が好調を維持したものの泌尿器系製品が中国で拡大する集中購買制度の影響により減少し、売上高3,593百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、血管系製品の一部終了に伴う減少があったものの、内視鏡関連製品が好調であったため、売上高944百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して896百万円減少し19,151百万円となりました。これは、商品及び製品の増加395百万円に対し、現金及び預金の減少1,055百万円、売掛金の減少127百万円、建物及び構築物の減少126百万円が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して768百万円減少し3,528百万円となりました。これは、賞与引当金の増加113百万円、転換社債型新株予約権付社債の増加749百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少101百万円、電子記録債務の減少75百万円、短期借入金の減少800百万円、未払法人税等の減少59百万円、その他の流動負債の減少424百万円、退職給付に係る負債の減少75百万円、繰延税金負債の減少47百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して127百万円減少し15,623百万円となりました。これは、利益剰余金の増加350百万円に対し、自己株式の増加194百万円、為替換算調整勘定の減少324百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月13日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

なお、国内外の経営環境の動向などを注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には適時に公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,317,961	5,262,280
受取手形	95,455	54,368
電子記録債権	1,199,515	1,203,415
売掛金	1,867,830	1,740,702
商品及び製品	2,091,024	2,486,707
仕掛品	774,771	685,517
原材料及び貯蔵品	1,055,435	1,207,859
その他	544,346	806,536
貸倒引当金	△5,959	△8,505
流動資産合計	13,940,381	13,438,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,544,199	2,417,779
機械装置及び運搬具（純額）	473,301	468,405
土地	1,086,223	1,086,223
建設仮勘定	191,330	154,506
その他（純額）	548,757	471,889
有形固定資産合計	4,843,812	4,598,805
無形固定資産		
借地権	177,874	163,750
その他	354,200	263,889
無形固定資産合計	532,075	427,640
投資その他の資産		
投資有価証券	619,533	607,916
繰延税金資産	71,848	41,846
その他	40,016	36,495
投資その他の資産合計	731,398	686,257
固定資産合計	6,107,287	5,712,703
資産合計	20,047,668	19,151,587

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	534,773	433,676
電子記録債務	248,718	173,427
短期借入金	800,000	—
未払法人税等	83,522	24,059
賞与引当金	53,166	166,499
役員賞与引当金	12,096	6,061
その他	1,372,829	948,470
流動負債合計	3,105,107	1,752,194
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	749,700
退職給付に係る負債	836,307	760,681
繰延税金負債	261,637	214,428
資産除去債務	2,702	2,702
長期未払金	28,086	12,250
その他	63,154	36,078
固定負債合計	1,191,888	1,775,841
負債合計	4,296,996	3,528,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,572	1,486,576
利益剰余金	11,078,119	11,428,983
自己株式	△1,003,042	△1,197,915
株主資本合計	13,023,385	13,179,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,621	188,527
繰延ヘッジ損益	6,703	2,375
為替換算調整勘定	2,380,450	2,056,395
退職給付に係る調整累計額	210,512	196,084
その他の包括利益累計額合計	2,727,287	2,443,383
新株予約権	—	788
純資産合計	15,750,672	15,623,552
負債純資産合計	20,047,668	19,151,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	9,512,351	10,054,596
売上原価	5,281,564	5,471,928
売上総利益	4,230,786	4,582,667
販売費及び一般管理費	3,709,601	3,668,892
営業利益	521,184	913,774
営業外収益		
受取利息	23,943	19,202
受取配当金	3,988	5,318
保険配当金	115	2,493
その他	11,295	13,767
営業外収益合計	39,343	40,781
営業外費用		
支払利息	8,929	7,206
固定資産除却損	1,013	572
為替差損	4,273	66,066
その他	1,143	8,727
営業外費用合計	15,360	82,573
経常利益	545,167	871,982
特別利益		
固定資産売却益	300,251	—
補助金収入	89,870	41,008
受取補償金	—	158,152
特別利益合計	390,121	199,160
特別損失		
固定資産除却損	—	120,553
棚卸資産廃棄損	—	28,857
投資有価証券評価損	29,999	—
特別損失合計	29,999	149,410
税金等調整前四半期純利益	905,289	921,732
法人税、住民税及び事業税	194,055	244,181
過年度法人税等	—	53,670
法人税等調整額	△33,395	△42,755
法人税等合計	160,659	255,097
四半期純利益	744,629	666,635
親会社株主に帰属する四半期純利益	744,629	666,635

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	744,629	666,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,009	58,905
繰延ヘッジ損益	△7,340	△4,327
為替換算調整勘定	125,723	△324,055
退職給付に係る調整額	△5,938	△14,427
その他の包括利益合計	146,454	△283,904
四半期包括利益	891,084	382,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	891,084	382,730
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式210,000株の取得を行い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が199,984千円増加しました。また、2025年4月25日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分等により、自己株式が5,211千円減少しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,197,915千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	487,674千円	425,330千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ディスプレイカテゴリー・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。